

SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）
レジリエントな防災・減災機能の強化
推進委員会（第10回） 議事概要

1. 日 時：平成30年3月20日（火） 17：00～18：00

2. 場 所：中央合同庁舎第8号館6階 623A会議室

3. 出席者：（敬称略）

<プログラムディレクター>

堀 宗朗 東京大学 教授

<サブプログラムディレクター>

根元 義章 東北大学 名誉教授

澤田 俊一 応用地質(株) 理事

<イノベーション戦略コーディネーター>

井村 和久 (株)東芝 シニアエンジニア

小松 憲一 イーレックス(株) 部長代理 (ご欠席)

<関係省庁>

縄田 俊之 内閣官房 情報通信技術(I T)総合戦略室 企画官

大脇 哲也 内閣官房 国土強靱化推進室 企画官

渡眞利 諭 内閣府 防災担当(調査企画) 参事官補佐

中越 一影 総務省 情報通信国際戦略局技術政策課 企画官

田沼 知行 総務省 情報通信国際戦略局技術政策課 研究推進室長

守谷 謙一 消防庁 危険物保安室 消防技術専門官

竹内 英 文部科学省 研究開発局地震・防災研究課 課長

古田 淳一 厚生労働省 大臣官房厚生科学課 健康危機管理・災害対策室 課長補佐

原田久富美 農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究統括室 研究統括官

安田 泰二 国土交通省 大臣官房技術調査課 建設技術政策分析官

小岩 真之 環境省 環境再生・資源循環局災害廃棄物対策室 災害廃棄物対策官

<管理法人>

真先 正人 (国研)科学技術振興機構 社会技術研究開発センター センター長

<事務局>

黒田 亮 内閣府 科学技術・イノベーション担当 大臣官房審議官

竹上 嗣郎 内閣府 科学技術・イノベーション担当(SIP) 参事官

宮武 晃司 内閣府 科学技術・イノベーション担当(安全社会) 参事官

松井 伸司 内閣府 科学技術・イノベーション担当(安全社会) 上席政策調査員

小林 誠 内閣府 科学技術・イノベーション担当(安全社会) 行政実務研修員

阿部 健一 (国研)科学技術振興機構 社会技術研究開発センター シニアフェロー

4. 議 事

- (1) 開会挨拶
- (2) H29 年度 GB 評価結果
- (3) H30 年度研究開発計画
- (4) SIP 終了後の展開

5. 配布資料

- 資料 0 議事次第
- 資料 1 推進委員会 委員名簿
- 資料 2 第 9 回推進委員会 議事録
- 資料 3 平成 29 年度 GB 評価結果 (SIP 防災)
- 資料 4 H30 年度予算配分の考え方について
- 資料 5 H30 年度 of 取組について
- 資料 6 研究開発計画書 (非公開版) (案)
- 資料 7 H30 年度 SIP 防災スケジュール (案)

6. 議事概要

- (1) 開会挨拶
 - 堀 PD より開会の挨拶があった。
- (2) H29 年度 GB 評価結果
 - 資料 3 を使用し内閣府より H29 年度 GB 評価結果に関する説明が行われた。
- (3) H30 年度研究開発計画
 - 資料 4・5 を使用し堀 PD より H30 年度の予算配分と取組、資料 6・7 を使用し内閣府より H30 年度の研究開発計画書とスケジュールの説明が行われた。
 - H30 年度研究開発計画書を GB に提出することに関して、府省庁の合意がなされた。
- (4) SIP 終了後の展開
 - 課題②MP-PAWR、荒川下流タイムラインの取組に関して、SIP 終了後も社会実装に向けて前向きに取組んでいく旨の発言があった。(総務省技術政策課研究推進室、国交省技術調査課)
 - 課題④SIP4D、ため池防災システム、災害医療の取組に関して、SIP 終了後も社会実装に向けて前向きに取組んでいく旨の発言があった。(文科省、農水省、厚労省)
 - 課題⑤インフラ被災情報収集の取組に関して、SIP 終了後も社会実装に向けて前向きに取組んでいく旨の発言があった。(国交省技術調査課)
 - 課題⑥ICT ユニットの取組に関して、SIP 終了後も社会実装に向けて前向きに取組んでいく旨の発言があった。(総務省技術政策課)
 - 災害廃棄物の対応に関して連携して進めていきたい旨の発言があった。(環境省)

- 内閣官房施策である国土強靱化計画、官民データ活用推進基本計画と連携して進めていきたい旨の発言があった。(内閣官房 IT 戦略室、内閣官房国土強靱化推進室)

以上